

住宅リフォーム助成制度ついに実現へ!

2月17日、西宮市は2012年度当初予算を発表しました。日本共産党西宮市会議員団は昨年8月、予算編成に対する「要望書」を提出していましたが、このたび回答があり、住宅リフォーム助成制度の創設や、国民健康保険料引き下げの財源として10億円の一般会計からの繰り入れなど、多くの要求が実現しました。

阪神間のトップを切って

住宅リフォーム助成制度モデル実施

市議団が繰り返しとりあげてきた住宅リフォーム助成制度は、すでに全国で4県382市町村(2011年10月現在)で実施されています。市は第2次産業振興計画に盛り込み、「環境配慮等住宅リフォーム助成モデル事業」として、阪神間ではトップをきってスタートします。

予算は625万円。市内業者にリフォームを依頼すれば、1件10万円を助成(50件予定)、合わせて雨水タンク設置の場合12万円(同10件)を助成。業者の仕事おこしとして期待されます。

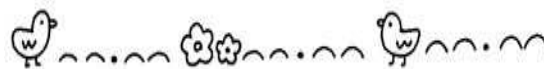
実施自治体ではどこでも応募者が殺到することから、予算を大幅に増やす必要があります。

面積基準を堅持し

保育所定員 442名拡大へ

待機児童解消を、保育所面積基準緩和による詰め込みで乗り切ろうとする民主党政権。党議員団は基準をむしろ広げることを求めてきました。

西宮市は12月、面積基準を堅持することを表明し、新年度は現行基準で受け入れ枠を拡大(公立150名、私立102名)するとともに、新設2園120名、既設2園での増改築で70名を増員、保育ルームは36名増員します。また、建設費用2園分を予算計上しています。



国民健康保険料 軽減に

4倍化 10億円 繰り入れ

「県下一高い国保料」を引き下げる運動が実を結び、2008年度以降、保険料抑制と減免拡充に、一般会計から2億5000万円の繰り入れを続けさせてきました。

しかし、2011年度は保険料が引き上げられ、また国保基金も底をついています。このままでは新年度の大幅な保険料引き上げは必至の状況です。

市議団は、保険料抑制のため一般会計からの繰り入れを大幅に増額するよう強く求めてきましたが、それに応えた形で、新年度は繰り入れ額を4倍の10億円に増額させることができました。



特別養護老人ホームが今津港町に、 中学校のエアコン設置など … 要求が実現します

- ・介護人材育成事業(求職者にヘルパー2級資格取得支援)
- ・配偶者暴力相談支援センター開設
- ・甲陽園留守家庭育成センターを増設
- ・市役所内における障害者就労支援事業
- ・母子保健事業の拡充(アンケート方式の10か月健診を医師による健診に変更する準備)
- ・北山学園の園児用トイレを改修
- ・精神障害者保健福祉手帳2級所持者に入院費一部助成
- ・その他プラスチック分別収集事業(2013年4月から市内全域実施にむけ、市内800カ所で説明会)
- ・小曾根線自転車通行帯の改良工事
- ・上甲子園公民館3階講堂の防音工事
- ・スクーリングサポートセンター整備事業(わかば園に合築)
- ・私立幼稚園就園奨励金増額(3000円増額)
- ・北口図書館の開館時刻を午前10時から午前9時に繰り上げ、学校図書館との連携強化
- ・中学校普通教室にエアコンを設置(2013・2014年度)
- ・神原小、甲陵中、浜甲子園中にエレベーター設置
- ・南甲子園小、上甲子園小の北校舎建て替えのための調査費